

アンケート結果 集計表(文部科学省統一指標)

・「集計表」シートは、集計用に使用しますので、編集・削除等は絶対にしないでください。

アンケート対象者(基礎データ)

全学生数	1,830
有効回答数	1,335
割合	73.0%

全教員	144
有効回答数	144
割合	100.0%

全職員	63
有効回答数	63
割合	100.0%

全連携自治体	3
有効回答数	3
割合	100.0%

アンケート結果の集計

教育活動の状況

1. 地域志向科目※を何科目設置していますか。現在開設している科目数と、平成27年度新規に開設した科目数をそれぞれお答えください。

現在開設している科目数	127 科目
うち、平成27年度新規に開設した科目数	9 科目

2. 地域志向科目にアクティブラーニングを導入している科目を何科目開設していますか。

アクティブラーニングの科目数	20 科目
当該科目の履修者数(実数)①	642 人
当該科目の履修者数の全学生に対する割合 (当該科目の履修者数①/全学生数)	41.2 %

自県内入学者及び自県内就職者の状況について

1. 本項目に加えて、別添1の入学・就職状況調査票(03【別添1】【〇〇大学】入学及び就職状況)についても記入願います。

2. 平成27年度末日における全就職者数のうち、COC事業の協力先企業(共同研究、インターンシップ、PBL等)に就職した数をお答えください。

COC事業の協力先企業就職者数	4 人
うち、共同研究連携	0 人
うち、インターンシップ	0 人

うち、PBL	0人
うち、その他	4人

連携自治体等からの支援の状況

1. 大学COC事業を進めるにあたり、連携する自治体や企業等とのコストシェアの状況についてお答えください。

①人的支援について

	教員			職員	その他
	教授	准教授	講師・助教・助手		
自治体	0人	0人	0人	9人	
企業等	0人	0人	0人		

②物的支援について

自治体	「第3回 エデュケーレ in たかはし」・「ボランティアフォーラム」実施にあたり、会場として高梁文化交流館を高梁市より無償で貸与していただいた。 「地域高齢者と大学生及び児童との世代間交流プログラム開発の取り組み」で行った「第1回交流会」実施にあたり、会場として高梁小学校を無償で貸与していただいた。 「親子ふれあい遊び」実施にあたり、会場として高梁市勤労青少年ホーム、成羽町文化センター、宇治幼稚園、落合児童館、川面地域市民センター、高梁文化交流館を高梁市より無償で貸与していただいた。
企業等	吉備国際大学 大人市民講座「スマホ・SNSを安全に賢く使おう」実施にあたり、会場としてポルカ天満屋ハピータウン市民交流センターをポルカ天満屋ハピータウンより無償で貸与していただいた。

③財政的支援について

自治体名	金額
南あわじ市	1,350,000 円

企業等名	金額
淡路島レタス産地活性化協議会	600,000 円

連携自治体や企業等からの相談状況

地域との連携強化に資する組織により(又は当該組織を通じて)連携自治体や企業から受けた相談件数をお答えください。

連携自治体からの相談件数	25 件
高梁市	19 件
南あわじ市	6 件
	件
	件

企業等からの相談件数	15 件
------------	------

うち、大企業	0 件
うち、中小企業	1 件
うち、小規模企業	14 件
うち、その他	0 件

全学生対象

1. あなたの出身(出生地)について、当てはまるもの1つを選んでください。

現在通っている大学がある都道府県(地元の大学へ進学)	457	人
現在通っている大学がある都道府県以外	734	人
分からない	0	人
その他	139	人

2. 当該大学、短大、高専(以下、「大学」とする)が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	674	0.50486891
知らない	447	0.33483146
わからない	214	0.16029963

3. 当該大学が「地域のための大学」として実施する授業科目等(〇〇(選択・必修、対象年次、対象学部)←各大学が個別に記載する)を受講したことがありますか。

	人数	割合
はい	340	0.25468165
はい(複数科目)	914	0.68464419
いいえ	48	0.03595506

(「3.」の質問で「はい」を選択した方にご回答ください。)

4. 上記科目を受講した結果、課題を含めた地域の現状を把握するとともに、地域の課題解決に役立つ知識・理解・能力は深まりましたか。

	人数	割合
はい	699	0.55741627
いいえ	163	0.12998405
わからない	392	0.31259968

(「3.」の質問で「はい」を選択した方にご回答ください。)

5. 上記科目の受講が、大学のある地域(都道府県)の企業や自治体等に就職しようとするきっかけになりましたか。

	人数	割合
そう思う	80	0.06379585
ややそう思う	216	0.1722488
どちらでもない	450	0.35885167
あまりそう思わない	243	0.1937799
そう思わない	265	0.21132376

(「3.」の質問で「はい」を選択した方にご回答ください。)

6. その知識・理解・能力を今後どのように活かしていきたいと思えますか。(自由記述)

- ・積極的に地域のイベントに参加していきたい
- ・地域の事業や企業の知識を得て、分野のはばを広げたいと思う。
- ・地域を知る大切さがわかった。地元のことを知りたいと思った。
- ・自分のこれからの生活や仕事に活かしていきたい。また、地域のさまざまなイベントに積極的に参加していきたい。
- ・地域に根付いたイベントを開催したいと思っている。
- ・地域活性化のボランティア活動に参加しようと思いました。
- ・学んだことを活かして、自分の就職したい地域が活性化できるようにしたいと思う。
- ・地域活性化や町興しに貢献したいと思う。
- ・地域の企業に就職し、知識を還元しようと思う。
- ・今後の就職先を考えるうえでも役に立ちそう。地域のイベントにも参加していきたい。
- ・地域の活性化に繋がるように学んだ知識を農業に活かしていきたい。
- ・地域に役立つ研究をしようと思う。
- ・地域との交流につなげていき、より身近に感じられるようにしていきたい。
- ・会社に就職し、この知識を活かしていきたい
- ・授業で得た知識を家族をはじめとする周りの人たちに伝え地域に対する問題について一緒に考えていきたい。
- ・岡山の企業に就職するので学んだ知識を還元していきたいと思う。
- ・地域活性化のイベントで、自分の考えを発信する。
- ・地域の特色を理解したうえで、地元とのつながりを自分の中で見出す。
- ・保健師に就職した時に参考にしていきたい。
- ・高齢化が進み若者が都会へ進出した山間地域の魅力を伝えていきたい。
- ・地域の特色を理解し、それにあつた看護を提供したいと思う。
- ・地域活動に医療者として関わっていけたらと思う。
- ・就職先で地域の人々と関わる際に役に立てたいと思います。
- ・地(知)の拠点整備事業に関わったことがない人との情報共有。
- ・自分の就職した地域の特性にあてはめていきたい。
- ・患者様のゴール設定をしていく上で、その方が過ごされていた地域の取り組みなどを知り、その方がイキイキして退院後を暮らしていける手助けになりたい。
- ・地域の病院に就職し、貢献していきたい。
- ・就職した病院周辺の地域イベントに参加してみたい。また、患者様との会話から地域の特色などを知り、地域に貢献したい。

全教員対象

1. 当該大学、短大、高専(以下、「大学」とする)が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	144	1
知らない	0	0
わからない	0	0

2. 「地域のための大学」として、地域を志向した教育・研究に参加していますか。

	人数	割合
教育・研究とも実施	67	0.46527778
教育のみ実施	35	0.24305556
研究のみ実施	13	0.09027778
いいえ	29	0.20138889

全職員対象

1. 当該大学、短大、高専(以下、「大学」とする)が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	63	1
知らない	0	0
わからない	0	0

全連携している自治体の代表を対象

1. 当該大学の取組は、副申した事業計画どおりに進捗していると思いますか。
(理由は、「入力用(自治体理由)」シートに記載願います)

	自治体数	割合
はい	3	1
いいえ	0	0
わからない	0	0

2. 当該大学の取組について、円滑な連携のもとに実施されていると思いますか。
(理由は、「入力用(自治体理由)」シートに記載願います)

	自治体数	割合
はい	3	1
いいえ	0	0
わからない	0	0

3. 当該大学の取組は「地域のための大学」として満足するものですか。
(理由は、「入力用(自治体理由)」シートに記載願います)

	自治体数	割合
大いに満足	1	0.33333333
満足	2	0.66666667
不満	0	0
大いに不満	0	0